

企画展

北海道立アイヌ民族文化研究センター
名寄市北国博物館



山田秀三の地名研究から

2011年……名寄

◆ 名寄市北国博物館 (名寄市緑丘222)

11月19日(土) ▶ 12月25日(日)

● 開館時間 9:00 ~ 17:00

● 休館日 毎週月曜 ※入場無料

(名寄市北国博物館の常設展をごらんになる場合は、同館の観覧料が必要です)

関連事業

展示解説講座 11月19日(土) 13:00 ~ 14:00

名寄市北国博物館

● 講師 北海道立アイヌ民族文化研究センター職員

講演会 11月19日(土) 14:30 ~ 17:00

名寄市北国博物館

名寄・道北のアイヌ文化をさぐる

● 講師 北原次郎太氏 (北海道大学准教授)

田村 将人氏 (北海道開拓記念館学芸員)

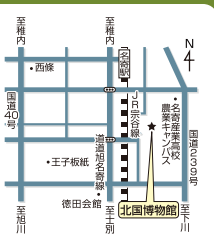


*写真左: 国土地理院5万分の1地形図「名寄」「士別」に、山田秀三が文献上の地名や現地調査の記録などを書き込んだもの。(山田秀三文庫 [YF0153-02-06、09])

*写真右: 室蘭・チャラツナイの海岸に立つ山田秀三 (1960年2月撮影)。(山田秀三文庫 [YP1305-008-10])

*写真右上: 山田秀三の地名調査記録より。音威子府村・パンケサックル川。(山田秀三文庫 [YP1401-004-01])

*写真下左: 山田秀三の地名調査記録より。名寄市風連・風連別川。(山田秀三文庫 [YP1401-0041-10])



名寄市北国博物館

(名寄市緑丘222 (名寄駅から車約7分))

●開館時間 9:00 ~ 17:00

●休館日 毎週月曜

※入場無料

(名寄市北国博物館の常設展をごらんになる場合は、同館の観覧料が必要です)

地名は、地域の歴史と文化をさまざまなかたちで反映しています。その地域に暮らす人々にとってはもっとも身近な存在の一つであり、その地域を訪れる人々にとっては地域を知り、親しむ手引きにもなります。

北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。これらのアイヌ語地名について知ることは、それぞれの地域を通してアイヌの歴史と文化を知るとぐちとなります。

当研究センターが所蔵する「山田秀三文庫」は、アイヌ語地名研究の第一人者である山田秀三氏 (1899~1992年) が遺した、アイヌ語地名に関する他に類を見ない貴重な資料であり、各地の地名に関する資料が豊富に含まれています。

この展示では、山田秀三文庫の資料から、名寄市とその周辺一天塩川の中・上流域—を中心に、山田氏が用いた地図、現地で撮影した写真、それらをまとめた記録などを紹介しながら、山田氏の地名調査のあとをたどっていきます。

開催初日には、展示を解説する講座と、アイヌの歴史と文化に関する講演会も開催します。

多くの皆様のご来場を、心よりお待ちしております。

アイヌ語地名を歩く